

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
貞享義民記念館 Tel.77-7550	三郷 小林雅範 著名人の色紙展	6月25日(水)～7月6日(日) 1階企画展示室	無料
	楡フォトクラブ写真展	7月15日(火)～21日(月・祝) 1階企画展示室	無料
安曇野高橋節郎 記念美術館 Tel.81-3030	夏季ワークショップ 七宝アクセサリーづくり 副山伊保江さん(日展作家)	7月20日(日) 13:00～16:30 本館メディアフォーラム	2,000円 定8人(先着順) 6月24日(火)から電話で
	夏季ワークショップ 金工体験 シルバーリングづくり 副松木光治さん(日展作家)	8月11日(月・祝) 10:30～16:30 本館メディアフォーラム	2,500円 定15人(先着順) 6月24日(火)から電話で
穂高陶芸会館 Tel.82-6750	自由に描けるうつわ作り	7月6日(日) 午前の部 9:30～ 午後の部 13:30～ (各回2時間30分)	小学生以上 1,300円(陶土500円 ² 込) 各回20人(先着順) 6月24日(火)から電話で
穂高交流学習 センター「みらい」 Tel.81-3111	観覧者募集 あづみの新進音楽家公開オーディション	7月6日(日) ジュニアの部 9:30～12:00 一般の部 13:00～15:00 多目的交流ホール	無料 各回30人(当日先着順) 不要
田淵行男記念館 Tel.72-9964	山口進追悼写真展 蝶の系譜 チョウとアリの共棲	7月23日(水)～10月19日(日) 地階展示室	要入館料
文書館 Tel.71-5123 Fax.71-5127	子ども向け講座 わたしたちの安曇野 副千村裕一(文書館職員)	8月3日(日) 13:30～15:00 (開場13:00) 堀金公民館講堂	無料 定100人(先着順) 6月24日(火)から電話・ファクス・電子メールいずれかの方法で bunshokan@city.azumino.nagano.jp

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください ■安曇野市美術館は8月29日まで長期休館中です

この写真は、市役所の4階から北側を撮影したものです。左手に北アルプス、右手に豊科・明科地域にまたがる筑摩山地、中央に押野山を見渡すことができます。これら3つの山地の地質は、それぞれ異なる時代・場所ので形成されました。



市役所4階からのパノラマ

北アルプスを筆頭に西にそびえる山々は、まだ日本列島が存在しない頃の堆積岩と花崗岩類からなります。堆積岩は、中生代の太平洋底に堆積し、プレートの沈み込みに伴って地中深くに形成されました。そこに中生代ごろに貫入したマグマが有明山や燕岳を形成する花崗岩類となりました。

時代は進んで約2000万年前から日本列島が大陸から分離を始めます。筑摩山地、押野山は、この活動以降の堆積物・フォッサマグナの地層からなります。筑摩山地の主な地質は、陸地に近い海底の堆積物です。クジラやアシカなどの化石が豊富で、当時の海の様子がかげえられます。押野山には、大峰帯と呼ばれる、より新しい堆積物が分布します。砂礫層中に火砕流堆積物や火山灰層などが挟まり、北アルプスの火山活動が活性化することを示します。

こうした大地の歴史に思いを馳せると、このパノラマもまた違った楽しみ方ができます。

第33回 コラム 市誌編さんだより

市誌編さん専門調査会 自然部会 専門調査員 松田幸子

パノラマから見る山地の岩石・地質

若手芸術家が安曇野に滞在し作品を制作

東京藝術大学と連携してアーティスト・イン・レジデンス(AIR)を開催します。本年は「安曇野の里山」がテーマ。東京藝術大学大学院を修了した3人の若手芸術家が安曇野に滞在し、市民の皆さんと交流しながら地域の調査や作品の制作を行います。10月には作品の展示を予定しています。



東京藝術大学
アーティスト・イン・レジデンス
安曇野AIR2025

PROFILE & INTERVIEW

彫刻・鍍金 堀田 光彦さん(左)



1991年 福岡県生まれ。2022年 東京藝術大学芸術学部工芸科鍍金研究室教育研究助手着任。鍍金による彫刻や砂の彫刻を中心に活動。各地で多岐にわたる表現活動を行っている。

Q 安曇野で楽しみにしていることは？

安曇野の皆さんと美術を通して交流できることを楽しみにしています。顔と名前を少しでも多くの皆さんに覚えてもらえたらうれしいです。滞在中はワークショップを行いますので、ぜひお会いしましょう。

鍍金 大竹 麟花さん(中央)



1996年 東京都生まれ。2022年 東京藝術大学取手校地共通工房教育助手着任。意図しない祈りや筆跡など生活の中にある人の痕跡をモチーフに鍍金作品を制作している。

Q 安曇野の皆さんの印象は？

少しお話させてもらった時に感じたことは、安曇野の皆さんは個人から世界が発展していくということ。滞在中は美術にとらわれず地元ならではの暮らしや気持ちを感じたいです。

染織 石井 淳さん(右)



1986年 神奈川県生まれ。2023年 東京藝術大学美術学部工芸科工芸研究室教育研究助手着任。染織技法を基に従来の方法にとらわれない作品づくりで新たな価値観を表現。

Q 安曇野で楽しみにしていることは？

ここ安曇野で多くの皆さんと関わり、知らないことやここでしかできないことを探したり、教えていただいたりすることが楽しみです。そこから新たな価値観や展開が生まれることを期待しています。